東日本連携を主導する さいたま市

大宮に支援センター きょうオープン

今、さいたま市が注目されている。2018年9月、市の人口が初めて130万人を超え全国9位、伸び率では福岡市、川崎市に次ぐ3位に。「住みたい街ランキング2019関東版」では、さいたま市大宮地区が4位、浦和地区が8位にランクイン（リクルート住まいカンパニー調べ）。

さいたま市民をはじめとする埼玉県民を〝いじった〟映画「翔んで埼玉」が大ヒット…。きょう3月28日、大宮駅東口近くに東日本連携センター「まるまるひがしにほん」がオープンする。清水勇人さいたま市長に同センターの概要や設立に至る経緯・背景、目指す市政の方向性を聞いた。

さいたま市長　清水 勇人 氏

―まるまるひがしにほん、とはの説明からお願いします。

「東日本の地方創生に向けた連携拠点、情報発信・信拠点という位置づけで、構想から3年半を経て実現した。東日本の（大宮と結ばれる新幹線沿線・周辺の）都市が、酒や食品など物産品を展示・販売によるシティプロモーションと、各地域の産業についてビジネスマッチングなどを行うところだ。大宮駅は1日70万人弱が利用し、半径10キロメートルに住む人たちの年齢構成が全国平均と近似しているなどからテストマーケティングにうってつけ。この施設を足掛かりに、中継点として、東日本各地の事業者に東京圏の巨大な消費市場を開拓していただければと考えて開設した」

―さいたま市が主導して立ち上げた「東日本連携・創生フォーラム」から誕生した施設ですね。

「そのとおりで、フォーラムは東日本地域での新幹線の延伸・開業に伴い設立した。インバウンド（訪日外国人）の誘致や地域活性化のための連携策を協議している。大宮駅グランドセントラルステーション化構想がハード面で、まるまるひがしにほんとフォーラムがソフト面でと、ハードとソフト両面の取り組みによって、連携・活性化の実を上げたい」

―20年の東京五輪・パラリンピックに向けた企画も出てきているようですね。

「五輪のサッカーとバスケットボールの試合がさいたま市内で行われる。インバウンドの人たちに、試合を見たついでに仙台や上田、金沢、富山などの観光を楽しんでもらおうといった案を煮詰めているところで、そうした広域周遊のルートが、すでにいくつか決まっている。東日本連携に関してまとめると、三つの『きょうそう』つまり、共想と共創それに協奏を各都市間で共有し、実践することが大切だ」

―五輪などを控え、さいたま市は20年度の目玉施策としてスポーツ産業の振興を打ち出しています。

「さいたま市にはサッカーJリーグをはじめプロ、アマ、学生を問わず、トップレベルのスポーツチームがたくさんあって、スポーツが大変盛んな都市。その持ち味をさらに強めようと、『スポーツシューレ』という仕組みをつくって、日本のスポーツ産業をリードするスポーツ都市を目指している。スポーツ科学、栄養学、メンタルヘルスなど多方面からアプローチして、魅力的なスポーツ環境を構築していく。一例として、ラクロスの選手を対象に、競技中のさまざまなデータを収集・分析する産学官共同プロジェクトを進めたりしている」

―「医療ものづくり都市構想」の現状はいかがですか。

「10年計画で進めている医療ものづくり都市構想は現在、後期の2年目といった段階にあり、徐々に成果が生まれている。市内に数多くある小型・精密部品メーカーの技術を医療機器の開発・製造に生かしてもらうもので、支援策の一環としてドイツ・バイエルン州の産業クラスターと協定を結び日独間のマッチングの促進などに取り組んでいる。また、東日本連携のプロジェクトが、新たな医療機器づくりにつながればよいとも思っている」

共想・共創・協奏 地方創生の中継点

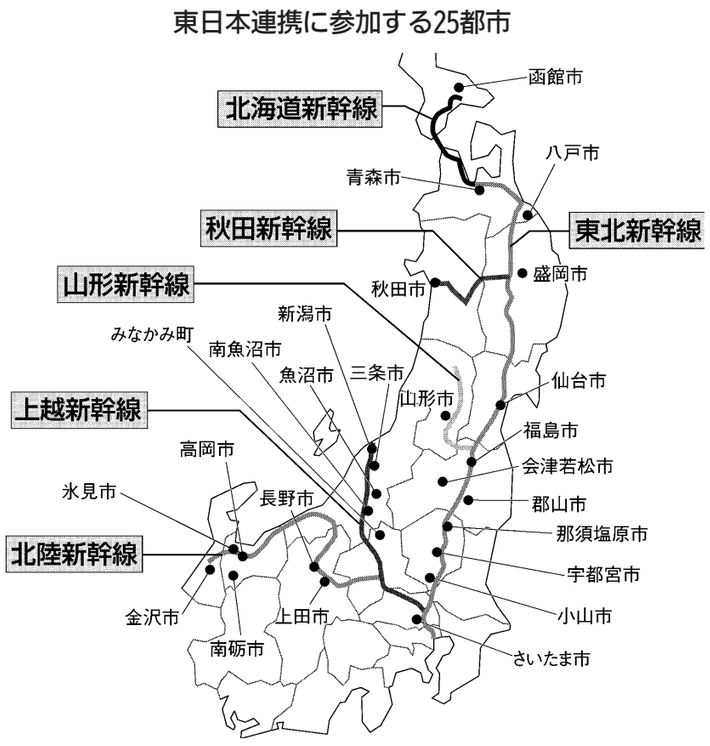
さいたま市の取り組み

センターを核に連携周知

さいたま市が設置し、さいたま商工会議所とともに運営する東日本連携センター（さいたま市大宮区）は、大宮駅東口に位置し、駅から徒歩1分と交通アクセスが良い。愛称は「まるまるひがしにほん」。営業時間は10―19時までで年中無休。延べ床面積は1階が約190平方メートル、2階が約200平方メートル。

1階のシティプロモーションフロアには、試食・テスト販売スペース、酒ウォール・酒サーバー、レストスペース、イベント・企画展示スペース、各自治体紹介コーナーを設ける。イベント企画展示スペースは自治体などに貸し出しを行い、物販なども可能になる。

2階のビジネス交流フロアには商談会やセミナーなどビジネスマッチング、情報カウンター、個室の会議室を用意。1、2階ともに出展する場合は利用料金がかかる。



情報交換・ビジネスマッチング推進

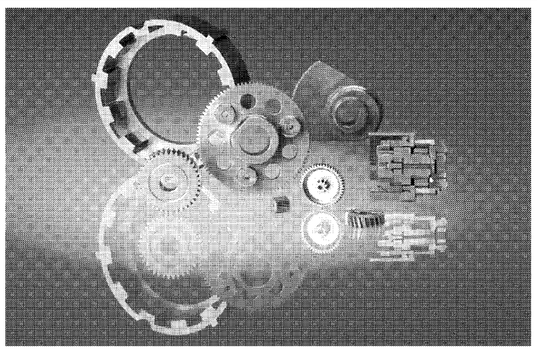
東日本地域企業とさいたま地域企業との情報交換やビジネスマッチングを推進していく。従来、ビジネスマッチングを創出するため、さいたま市などは毎年秋、「BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展」を開催している。直近では2018年11月20、21日に大宮ソニックシティ（さいたま市大宮区）で開き、98社の大手・中堅企業から171件の技術ニーズを収集。そのニーズに対して327件の提案があり、ニーズ件数、提案件数ともに過去最高だった。東日本連携地域から福島市や福島県南相馬市、長野県上田市など7団体が出展。吉沢浩之さいたま市経済局長は東日本連携センターをベースに「連携の周知にも力を入れたい」と話す。

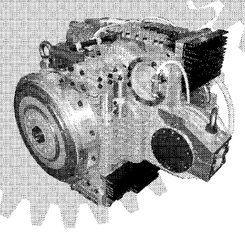
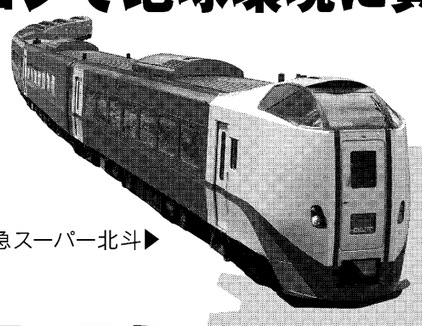
さいたま市はかねて、東日本のヒト・モノ・情報が対流する拠点の機能を目指しており、東日本連携センターのオープンと前後して、企業やMICE（国際会議や展示会）の誘致を加速する考えだ。これらを弾力的に進めるため、4月1日からオフィスとホテルの容積率を緩和する。オフィスに関しては都市計画制度による容積率緩和を新設する。現行の都市計画制度には緩和措置がないため今回新設し、敷地単位ではなく街区単位で容積率を緩和する。容積率の上限は300%。ホテルでは総合設計制度による規制緩和を行う。現行の敷地面積1000平方メートル以上という要件を500平方メートル以上とする。

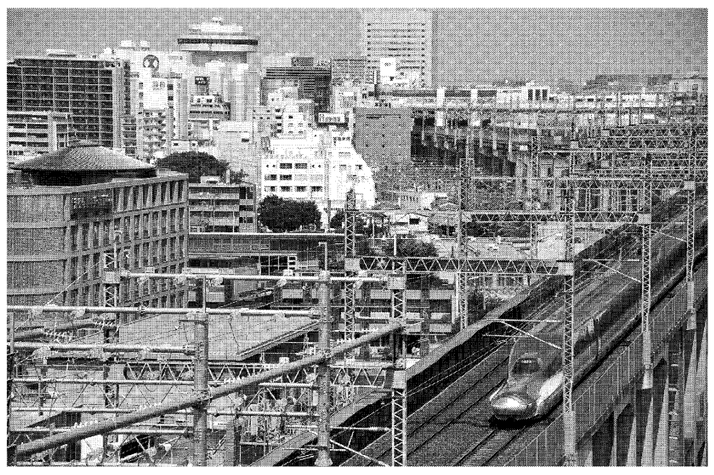
企業・MICE誘致 加速

企業誘致は、2005―17年度までの13年間で159件の実績がある。そのうちカルソニックカンセイやクラリオン、オリジン電気などは本社も含んでの移転。規模の大きい企業が転入する傾向があり、企業転入数も全国と比べても高い。18年度の企業立地は12社を予定している。ただ、さいたま市は高いオフィス需要に対して、空室率が約0・3%（CBRE調べ）と主要都市では最も低く、需要に応えきれていない。市場の適正バランスとされる空室率5%には、延べ床面積3・3万平方メートル程度が必要だ。

MICE誘致を進める上で重要な要素となる宿泊施設でも同様の課題を抱える。特に市内宿泊施設の稼働率は約83%と依然として高く、MICE受け入れの大きなネックとなっている。現在、大宮駅周辺を中心に五つのホテルの建設が進められている。市内ホテルの客室数は現在約2800室だが、20年度には4000室超を見込む。規制緩和により、より一層ホテル建設が進む可能性がある。市は17年度に策定したMICE誘致戦略を元に、20年度までを基盤整備期間と位置づけた。関係組織と連携を強化するソフト面とMICE施設・ホテル誘致のハード面の両面で進めていく。

porite
Powder Metallurgy Specialist
粉進秒歩で65年
つねに次世代を見つめて、
技術開発を続けた65年。
世界の粉末冶金ブランド「ポーライト」は、
いまも進化を続けています。

Powder Metallurgy Specialist
ポーライト株式会社
〒331-0823　さいたま市北区日進町2-121　TEL.048-653-2222　FAX.048-660-1292
熊谷・大阪・名古屋・台湾・シンガポール・マレーシア・中国・香港・ヨーロッパ・アメリカ・インド
http://www.porite.co.jp

nico
HITACHI
Inspire the Next
環境にやさしいトランスミッションで地球環境に貢献

◀北海道新幹線と札幌を結ぶ
特急スーパー北斗に搭載の
当社トランスミッション

特急スーパー北斗▶
株式会社 日立ニコトランスミッション
〒331-0811　埼玉県さいたま市北区吉野町一丁目405番地3　TEL：048-652-6969　URL：http://www.hitachi-nico.jp
お問い合わせは、営業本部：TEL. 048-652-7979／大阪：TEL. 06-6578-0615／名古屋：TEL. 052-211-4385／福岡：TEL. 092-414-9220／札幌：TEL. 011-221-6165
nico は、㈱日立ニコトランスミッションの製品ブランドです。
（JR北海道承認済）

「東日本の玄関口」さいたま市
◆充実した交通ネットワーク
－鉄道網・道路網の発達－
◆東日本の広域連携
－経済・観光交流の促進－
◆人・モノ・情報の対流拠点
－東日本のビジネス拠点が集積－
◆国の広域防災拠点
－自然災害に強い都市－
◆発展していくまちづくり
－都心エリアの再開発－
さいたま市　企業立地　検索

世界に誇る技術力“さいたま市リーディングエッジ企業”
□さいたま市は、独創性・革新性に優れた市内の研究開発型ものづくり企業を認証し、グローバル展開を支援しています。
□認証企業34社は、いずれも各分野で世界トップクラスの技術を持つリーディング企業です。
□Facebookにて、制度や企業の情報発信を行っています。
★Facebookページへはこちらから→
さいたま市　リーディングエッジ　検索
技術で世界にサプライズを
SAITAMA CITY LEADING-EDGE
さいたま市経済局商工観光部産業展開推進課
TEL 048-829-1371　FAX 048-829-1944
http://www.city.saitama.jp